

松原市の国際認証都市としての
新たなスタートにぜひお立会いください

セーフコミュニティ認証式典

と き：平成25年**11月16日**(土)
午前**10時**～午後**5時30分**

ところ：松原市文化会館(全席自由)
※第2部を除き、ご自由に参加いただけます。



2013.11.16

【第1部】 午前10時～正午(開場：午前9時30分)

屯倉太鼓保存会による太鼓演奏
記念講演

『セーフコミュニティの概要と動向』

セーフコミュニティ認証センター(韓国) センター長 趙 竣秘(チョウ・ジュンピル)氏

『セーフコミュニティ活動における自殺対策』

セーフコミュニティ認証センター(韓国) 公認審査員 白 璐(パイ・ル)氏

松原市セーフコミュニティ6対策委員会委員長による活動報告

【第2部】 午後1時30分～3時15分(開場：午後1時)

自殺予防対策 名越 康文講演会

『自殺予防の大切さについて』

精神科医 名越 康文氏

※入場には事前配布している整理券が必要です(往復はがきによる受付は終了しました)。
なお、整理券につきましては、若干残りがございますので下記人権文化室までお問い合わせください。

【第3部】 午後4時～5時30分(開場：午後3時30分)

セーフコミュニティ認証式典

泉 里沙さんによるヴァイオリン演奏

- ▶第1部および第3部についてのお問い合わせは……
市民安全課 ☎337-3151 FAX334-7870
- ▶第2部についてのお問い合わせは……
人権文化室 ☎337-3101 FAX337-3003

セーフコミュニティとは、WHO(世界保健機関)セーフコミュニティ協働センターが推進する、安心・安全なまちづくりの国際認証制度です。セーフコミュニティでは、私たちの安心・安全な暮らしをおびやかす大きな要因である『けがや事故』に着目し、『けがや事故は偶然の結果ではなく、原因を分析し、対策することで予防することができる』という理念のもと、これまでの地域活動や事業を生かしながら、予防に重点を置き、科学的な分析と地域住民、関係機関、行政など分野を超えた連携・協働により、安心・安全なまちづくりに向け、より効果的で継続的な活動を行っていきます。

これまでに世界で300以上の地域が認証を取得し、日本では京都府亀岡市、青森県十和田市、神奈川県厚木市、長野県箕輪町、東京都豊島区、長野県小諸市、神奈川県横浜市栄区が認証を取得しており、全国に広がりつつあります。松原市は国内で8番目、大阪府では初の認証取得となります。

【講演者・演奏者プロフィール】

趙 竣秘(チョウ・ジュンピル)

○韓国 亜州大学医学部救急医療部教授

○セーフコミュニティ認証センター(韓国)・提携支援センター センター長

1999年より韓国のセーフコミュニティのリーダーとして活動を推進。

2004年、地域レベルでの安全を向上させるための機関を亜州大学医療学部に設立し、センター長に着任。セーフコミュニティ提携支援センターおよび認証センターとして、韓国、アジア各国のセーフコミュニティ活動の支援および認証を行っている。松原市の審査を担当。



白 璐(パイ・ル)

○台北医科大学外傷予防・コントロール研究所(台北市)准教授

○セーフコミュニティ認証センター(韓国) 公認コーディネーター・審査員

○台湾社區安全推進センター センター長

台湾における傷害予防および安全向上の分野における先駆者の一人であり、2002年にセーフコミュニティを台湾に導入して以来、これまで20以上のコミュニティをセーフコミュニティ認証に導いてきた。「台湾のセーフコミュニティの母」として信頼され、精力的にコミュニティ支援を行っている。趙氏とともに松原市の審査を担当。



名越 康文

1960年、奈良県生まれ。精神科医。相愛大学、京都精華大学客員教授。専門は思春期精神医学、精神療法。近畿大学医学部卒業後、大阪府立中宮病院(現:大阪府立精神医療センター)にて、精神科救急病棟の設立、責任者を経て、1999年に同病院を退職。引き続き臨床に携わる一方で、テレビ・ラジオでコメンテーター、映画評論、漫画分析などさまざまな分野で活躍中。



泉 里沙

ロンドン生まれ14歳で日本帰国。東京芸術大学音楽学部附属音楽高校入学、同大学、同大学院へ進み、2010年、ウィーン・コンセルヴァトリウム大学院および研究科で研鑽を積み最優秀の成績で修了。日本学生音楽コンクール中学生の部東京大会第2位など多数受賞。ヴィニャススキーヴァイオリンコンクール ディプロマなど受賞。2010・2012年度松原文化表彰受賞。2012年度松原市がんばる市民応援基金を受ける。



セーフコミュニティ認証取得までの歩み

平成23年5月
(2011年)

▶ セーフコミュニティ取組宣言
WHOセーフコミュニティ協働センターに「準備段階都市」として登録



7月

▶ 松原市セーフコミュニティ推進協議会設置
行政が把握する統計データや救急搬送データをもとに「地域診断」を開始

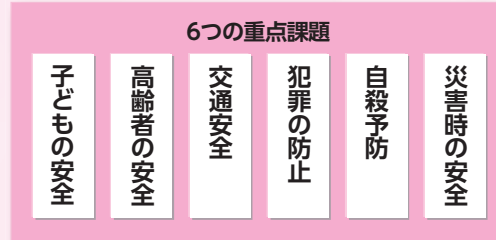
8月

▶ 「けが及び安心安全に関する実態調査アンケート」を実施



11月

▶ 松原市セーフコミュニティ推進協議会で6つの重点課題を決定



12月

▶ 6つの重点課題ごとに「対策委員会」を設置
データ収集分析および取組評価を担当する「外傷調査評価委員会」を設置

平成24年9月
(2012年)

▶ アメリカ・韓国より講師を招き、日本セーフコミュニティ推進機構と合同研修会を共催（セーフコミュニティに取り組む他自治体も参加）



10月

▶ セーフコミュニティ認証センター（韓国）による事前審査では、専門機関との強い連携と地域の力強いリーダーシップに高い評価



平成24年11月
(2012年)

▶ 東京都豊島区で開催された第6回アジア地域セーフコミュニティ会議で松原市の取り組みを発表



平成25年5月
(2013年)

▶ 2年間にわたる活動の集大成としてセーフコミュニティ認証センター（韓国）に『認証申請書』を提出



8月

▶ セーフコミュニティ認証センター（韓国）による現地審査
3人の審査員が来日し、国際基準を満たした取り組みがなされていると評価



▶ 8月19日付けで、セーフコミュニティ認証センターから認証内定の通知



9月

▶ 台湾台北市の認証区（文山区・信義区・大同区）へ視察（広報まつばら11月号15ページ参照）

10月

▶ メキシコメリダ市で開催された第21回セーフコミュニティ世界会議に市長が日本の自治体を代表して招待され講演（広報まつばら11月号15ページ参照）

11月

▶ 松原市セーフコミュニティ認証式典
大阪府下で初、国内8番目となるセーフコミュニティ国際認証の実現へ

…… セーフコミュニティ活動を継続し、さらなる安心・安全なまちへ